

令和6年度 スポーツ施設等管理運営事業 安養寺運動公園プール等改修工事

図面目録

No	図面名称	縮尺(A3)	No	図面名称	縮尺(A3)
A-01	建築工事改修特記仕様書1/7	-	A-09	案内図・配置図	1/10000 1/2500
A-02	建築工事改修特記仕様書2/7	-	A-10	プールサイド 平面図(現況)	1/250
A-03	建築工事改修特記仕様書3/7	-	A-11	プールサイド 平面図(改修)	1/250
A-04	建築工事改修特記仕様書4/7	-	A-12	滑り台 階段詳細図	1/2 1/20
A-05	建築工事改修特記仕様書5/7	-	A-13	幼児用滑り台詳細図・プールサイド断面図	1/20
A-06	建築工事改修特記仕様書6/7	-	A-14	プール修繕特記仕様書	-
A-07	建築工事改修特記仕様書7/7	-	A-15	大プール 平面図	1/150
A-08	施工条件特記仕様書	-	A-16	幼児用プール 平面図	1/150

附記

(株)スギエもん設計

静岡県掛川市上西郷1676-2 藤ハイツ103
TEL:0537(54)2821 FAX:0537(54)2822
E-mail:sugiemon@zm.commuja.jp

事務所登録(1)第7891号
管理建築士 杉山 彰
1級建築士登録 第314153号

作図年月日
R06.04.01

担当者
杉山 彰

縮尺

-

工事名 令和6年度 スポーツ施設等管理運営事業 安養寺運動公園プール等改修工事
図面名 表紙・図面目録

図面No
A-00

○28 公共事業労働費調査に対する協力
受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労働費調査の対象工事となった場合には、以下の各号に掲げる協力を行わなければならない。
(1) 調査票等に必要事項を正確に記載し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。
(2) 調査票等を提出した事業所が発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力しなければならない。
(3) 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成すると共に賃金台帳を複製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。
(4) 対象工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請負工事の受注者（当該下請工事の一部に係る当該の下請負人を含む。）が前号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。
29 建設発生の土の処理
・ 場外指定場所に搬出し、搬出後、監督職員へ搬出先の受入を証明する資料を提出する。
搬出場所（ ）
受入条件（ ）
仮置き場（ ）
土壌汚染のおそれ（ ）
分析調査（ ）
調査対象（ ）
・ 場内指定場所に敷き均し（ ）
・ 場内指定場所に堆積（ ）
・ 静岡県建設発生土マッピングシステム等により他工事現場との調整を行うこと
なお、受注者の提示する運搬距離、処分費及び整地費と異なる場合においても設計変更の対象としな。
2 章 仮設工事
1 足場その他
内部足場の種類
外部足場の種類
手すり先行足場の設置
2 材料、撤去材等の運搬
3 既存部分の養生
4 仮設間仕切り
5 監督職員事務所
6 監理事務所
7 工用排水
8 工用電力

3 章 防水改修工事
1 施工数量調査
2 降雨等に対する養生方法(とい共)
3 既存防水の処理
4 既存下地の処理
5 試験
6 アスファルト防水
7 改質アスファルトシート防水
8 屋根露出防水
9 屋根露出防水
10 立上り部の保護
11 屋根露出防水
12 立上り部の保護
13 屋根露出防水
14 立上り部の保護

屋内防水
7 改質アスファルトシート防水
8 屋根露出防水(既存)
9 屋根露出防水(新設)
10 立上り部の保護
11 屋根露出防水
12 立上り部の保護
13 屋根露出防水
14 立上り部の保護
15 屋根露出防水
16 立上り部の保護

8 合成高分子ルーフィング防水
新設防水層の種類
屋内防水
9 塗膜防水
10 新設防水層の種類
11 屋内防水
12 塗膜防水
13 新設防水層の種類
14 屋内防水
15 塗膜防水

5章 建具改修工事 (5.1.3)

Table with 4 columns: 建具の種類, かぶせ工法, 撤去工法, 適用箇所. Rows include 樹脂製建具, 鋼製建具, 鋼製軽量建具, ステンレス製建具, 木製建具.

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方
新規建具周囲の補修工法及び範囲
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章防水改修工事による

2 防火戸 (5.1.4)
指定する 適用箇所 (建具表による)
指定しない
防火戸の自動閉鎖機構及びヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
連動させる (建具表による)
連動させない

3 見本の製作等 (5.1.5)
建具見本の製作 建具符号：
建具見本の目的等
工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
納まり等が分かる程度のもの
特殊な建具の仮組 建具符号：

4 防犯建物部品 (5.1.7)
適用する (建具表による)
適用しない

5 アルミニウム製建具 (5.2.2~5)(表5.2.2)
性能値等
耐風圧性の等級 (建具表による)
気密性の等級 (建具表による)
水密性の等級 (建具表による)
外部に面する建具の種類
A種 (建具符号)
B種 (建具符号)
C種 (建具符号)
枠の見込み寸法
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級 (建具表による)
断熱ドア・断熱サッシ[G]
断熱性の等級 (建具表による)
材料
ステンレス鋼板 SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ HL
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種別 BB-1 BB-2(改修標準仕様書5.2.2)
着色 標準色 特注色
屋内の建具
種別 BC-1 BC-2(改修標準仕様書5.2.2)
着色 標準色 特注色
結露水の処理方法
水貯め式 排水式
工法
水切り板、ぜん板 図示による

Table with 4 columns: 種類, 材種, 線径, 網目. Rows include 防虫網, 防鳥網.

6 樹脂製建具 (5.2.2)(5.3.2~5)
性能値等
耐風圧性の等級 ()
気密性の等級 ()
水密性の等級 ()
外部に面する建具の種類
A種 (建具符号)
B種 (建具符号)
C種 (建具符号)
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級 (T-1 T-2)
断熱ドア・断熱サッシ[G]
断熱性の等級 (H-4 H-5 H-6 H-7 H-8)
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
枠の見込み寸法
建具表による
材料
ガラス 複層ガラス
ステンレス製のくつずりの仕上げ HL
形状及び仕上げ
表面色 標準色 特注色
工法
水切り板、ぜん板 図示による

7 鋼製建具 (5.2.2)(5.4.2~4)(表5.4.2)

性能値等
簡易気密型ドア等
適用する (建具符号)
適用しない
外部に面する鋼製建具の耐風圧性
耐風圧性の等級 (建具符号)
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級 (建具符号)
断熱ドア・断熱サッシ[G]
断熱性の等級 (建具符号)
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料
ステンレス製のくつずりの仕上げ HL
ステンレス鋼板 SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
形状及び仕上げ
鋼板の厚さ
標準型鋼製建具の形式及び寸法
建具表による

8 鋼製軽量建具 (5.2.2)(5.5.2~4)
性能値等
簡易気密型ドア等
適用する (建具符号)
適用しない
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級 (建具符号)
断熱ドア・断熱サッシ[G]
断熱性の等級 (建具符号)
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料
鋼板の種類 亜鉛めっき鋼板、ヒノキ被覆鋼板、ガル鋼板、ステンレス鋼板
ステンレス鋼板 SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
召合せ、縦小口包み板の材質
ステンレス製のくつずりの仕上げ HL
形状及び仕上げ
鋼板の厚さ(mm)
改修標準仕様書5.5.1による
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法
建具表による

9 ステンレス製建具 (5.2.2)(5.4.2)(5.6.2~5)
性能値等
簡易気密型ドア等
適用する (適用箇所)
適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級 (建具符号)
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級 (建具符号)
断熱ドア・断熱サッシ[G]
断熱性の等級 (建具符号)
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料
ステンレス鋼板 SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ HL
表面仕上げ
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ

10 木製建具 (5.7.2~4)
建具材の加工、組立時の含水率
建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 F☆☆☆☆
表面材のホルムアルデヒド放散量等 改修標準仕様書5.7.2(2)(4)(a)による

Table with 3 columns: 合板の種類, 規格等, 備考. Rows include 普通合板[G], 天然木化粧合板[G], 特殊加工化粧合板[G], MDF[G].

表面板の厚さ
改修標準仕様書5.7.6による
引戸の召合わせかまちのいんろう付きの適用
かまち戸 樹種 (鏡板樹種)
見込み寸法 36mm 建具表による
張りの種別 I形 II型
上張り(押入等の裏側以外) 鳥の子 新鳥の子又はヒノキ紙程度
縁仕上 塗り縁 生地縁(素地) 生地縁(カクキリ塗装)
戸ぶすま 見込み寸法 19.5mm 建具表による
表面板の仕上げ 建具表による
見込み寸法 30mm 建具表による
見込み寸法 30mm 建具表による
枠、くつずりの材料 建具表による

11 建具用金物 (5.8.2、3)

金物の種類・見え掛り部の材質等
改修標準仕様書5.8.1による
金属製建具用丁番の枚数及び大きさ
改修標準仕様書5.8.2による
樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ
改修標準仕様書5.8.3による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
改修標準仕様書5.8.4による
木製建具に使用する戸車及びレール
改修標準仕様書5.8.5による
握り玉、レバーヘッド、押板類、カシメの取付位置
建具表による
錠前類【リフト】箱錠及びリフト本締り錠
別表による

12 鍵 (5.8.4)
マスターキー
製作する
既存のマスターキーに合わせる
製作しない
その他の鍵の製作本数
3本1組
鍵箱
有
無

13 自動ドア開閉装置 (5.9.2、3)
戸の開閉方式
建具表による
引き戸用駆動装置
性能値
改修標準仕様書5.9.11による (防錆の適用)
以下による
種類・開閉方式 ()
耐電圧 ()
温度上昇 ()
耐久性(9ヶ月) ()
防錆 ()
電源 ()
多機能トビ出入口引き戸用駆動装置
性能値
改修標準仕様書5.9.21による (防錆の適用)
以下による
耐電圧 ()
温度上昇 ()
耐久性(9ヶ月) ()
防錆 ()
電源 ()
引き戸用検出装置
性能値
改修標準仕様書5.9.31による (防錆の適用)
以下による
耐電圧 ()
温度上昇 ()
防錆 ()
電源 ()

引き戸用検出装置の種類
建具表による
タッチスイッチの種類
無線式タッチスイッチ
光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類
大形押しボタンスイッチ
非接触スイッチ
凍結防止措置
行う
行わない

14 自閉式上吊り引戸装置 (5.10.3)
性能値等
改修標準仕様書 5.10.1 による
以下による ()
手動開き力 ()
手動閉じ力 ()
閉じ速度の調整 ()
制動区間 ()
開閉繰返し ()
耐衝撃性 ()

15 重量シャッター (5.11.2、3)
シャッターの種類
管理用シャッター
外壁用防火シャッター
屋内用防火シャッター
防塵シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () Pa
開閉方式の種類
上部電動式(手動併用)
手動式
安全装置
電動シャッターの急降下停止装置、急降下制動装置 (設置箇所)
電動シャッターの障害物感知装置
改修標準仕様書 5.11.2 による
改修標準仕様書 5.11.3 による
屋内用防火シャッター若しくは防塵シャッターの危害防止機構
改修標準仕様書 5.11.2 による
改修標準仕様書 5.11.3 による
管理用シャッターのシャッターケース
改修標準仕様書 5.11.2 による
改修標準仕様書 5.11.3 による
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類
JIS G 3502(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
JIS G 3512(塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯)
めっきの付着量
Z12またはF12
ガレージレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスラット等の材質
ステンレス鋼板
SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

16 軽量シャッター (5.12.2~4)
開閉方式の種類
手動式
電動式(手動併用)
耐風圧強度() Pa
安全装置
電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所)
スラットの材質の種類
JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量
Z06またはF06
JIS G 3322(塗装溶融55%亜鉛-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量
A290
スラットの形状
インナーキック形
オーバーラップ形

17 オーバーヘッドドア (5.13.2、3)

Table with 5 columns: セラミック材料による区分, 耐風圧性能の区分, 開閉方式による区分, 取納形式による区分, ガレージレールの材料. Rows include スチールタイプ, アルミタイプ, ファイバーグラスタイプ.

18 ガラス (5.14.2~4)
フロートガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
建具表による
型板ガラスの厚さによる種類
建具表による
網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
建具表による

合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類
建具表による
落球衝撃はく離特性並びにショットペック衝撃特性による種類
I類 II-1類 II-2類 III類
強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
建具表による
破片の状態及びショットペック衝撃特性による種類
I類 II類 III類
熱線吸収板ガラス
ガラスの厚さによる種類
建具表による
性能による種類
I類 II類
複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
建具表による
断熱性による区分
T1 T2 T3 T4 T5 T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分
G S
乾燥気体の種類
空気 760mmHg
熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
建具表による
日射遮蔽性による区分
1種 2種 3種
耐久性による区分(日射遮蔽性による区分が2種の場合)
A類 B類
倍強板ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
建具表による

Table with 3 columns: 建具の種類, ガラス留め材, ガラスの大きさ(mm). Rows include アルミ製, 鋼製及び鋼製軽量, ステンレス製, 樹脂製.

Table with 6 columns: 呼び寸法(mm), 厚さ(mm), 色調, 目地幅(mm), 伸縮調整目地位置(mm), 防火性能. Rows include 160x160, 200x200.

壁用金属枠及び補強材
図示
力骨 材質
ステンレス鋼(SUS304)
寸法
5.5mm
形状
はしご形状複筋及び単筋
化粧目地幅の色
白 グレー
シーリングの種類
SR-1 PS-1
金属製化粧カバー
材質
ステンレス製 アルミ製
寸法
図示
形状
図示
目地部の横力骨の納まり
ガラスの取付位置による
工法
適用区分による風圧力の (1 1.15 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

Table with 4 columns: 種類, 記号, 性能等. Rows include 日射調整フィルム, 低放射フィルム, 衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム, 相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム, ガラス貫通防止フィルム.

6章 内装改修工事
1 改修範囲 (6.1.3)
既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取りや天井、壁及び床の改修範囲
2 既存床の撤去及び下地補修 (6.2.2)
3 既存壁の撤去及び下地補修 (6.3.2)
4 施工一般 (6.5.2)
5 製材[G] (6.5.2)

「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材
「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材
7 造作用単板積層材[G] (6.5.2)
8 合板等 (6.5.2)

9 接合具等 (6.5.3)
10 接着剤 (6.5.3、4)
11 防露・防蟻処理 (6.5.5)
12 内部間仕切軸組及び床組み (6.5.6)
13 窓、出入口その他 (6.5.7)
14 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2~4)
15 軽量鉄骨地下地 (6.7.3、4)(表6.7.1)
16 ビニル床シート[G] (6.8.2、3)
17 ビニル床タイル張り[G] (6.8.2)

18 特殊機能床 (6.8.2)
19 ビニル幅木 (6.8.2)
20 ゴム床タイル (6.8.2)
21 カーペット敷き (6.9.2、3)(表6.9.1)
22 合成樹脂塗床 (6.10.2、3)
23 フローリング張り (6.11.2~6)
24 畳敷き (6.12.2)

5 断熱・防露改修工事 [G] (9.3.2~4)

断熱材又は保温材、接着剤の放散量 開口部等補修のための張付け用の接着剤の放散量

工法

- 断熱材打込み工法
断熱材 JIS A 9521に基づく発砲プラスチック断熱材
- 断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 A種1 A種1H
吹付け厚さ(mm) 25 30
施工箇所 図示
- 断熱材後張り工法
断熱材 JIS A 9521に基づく発砲プラスチック断熱材

6 屋上緑化改修工事 [G] (9.4.2~4)

植栽基盤及び材料

- 屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の種類等
見切り材、舗装材、排水管、マルチング材等 (品質・性能・試験方法)別表による

7 透水性アスファルト舗装改修工事 (9.5.2~5, 9)

適用範囲：歩道

既存舗装の撤去及び再利用

路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
盛土	A種 B種 C種 D種	図示
凍上抑制層	建設汚泥から再生した処理土[G] 再生クワックラ[G] フラッシュ 切込み砂利 川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下)	図示
フィルター層	砂	図示

凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験

路床安定処理

路床安定処理用添加材料

添加量

試験

路盤

舗装の構成

10章 ユニット及びその他工事 (20.2.2)

1 フリアクセスフロア

施工箇所	工法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上材	備考
	敷設式	500×500		1.0G	3000	帯電防止床材	
	支柱調整式			0.6G	5000	帯電防止床材	

寸法精度

帯電防止性能

帯電防止性能

2 可動間仕切 (20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類	パネ表面仕上げ	遮音性 (db/500Hz)	防火性能
スタッド式(内蔵) スタッド式(露出) スタッドパネ式 パネ式	スタッド パネ	ポリウレタン樹脂焼付又は アクリル樹脂焼付 壁紙張り	0 12 20 28 36	不燃

パネ内に取付ける建具

パネ内に取り付ける家具のドアノブ、丁番、錠前、上げ落し等は、標準仕様書16章の建具用金物に対応する材質とする。

3 移動間仕切 (20.2.4)

走行方向	操作方法による種類	パネ圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	材質	仕上げ	遮音性 (db/500Hz)
平行方向移動式 二方向移動式	手動式 電動式	フック式 ハンド式		鋼板	焼付塗装 壁紙張り	36未満 36以上

パネ表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。

4 トイレブース (20.2.5)

表面材の材料	脚部		ドア
	種類	材質	
ポリウレタン樹脂化粧板 ポリエチレン樹脂化粧板	幅木タイプ	製造所の仕様による	ポリウレタン樹脂製 ステンレス製

5 手すり (20.2.6)

材料の種類及び仕上げ

6 階段滑り止め (20.2.7)

材料

形状

端部の形状

寸法(幅)

取付け工法

7 黒板及びホワイトボード (20.2.9)

黒板

区分

種類

色

ホワイトボード

8 鏡 (20.2.10)

取付箇所

寸法(mm)

厚さ(mm)

9 表示 (20.2.11)

衝突防止表示

設置場所

形状・寸法

材質

設置しない

誘導標識、非常用進入口等の表示

10 タラップ (20.2.12)

材質及び仕上げ

11 煙突ダクト (20.2.13)

適用安全使用温度

工法

12 ブラインド (20.2.14)

形式	操作方法	操作方法的の種類	スラットの種類	スラット幅(mm)	ガラスレールの種類	幅・高さ・取付箇所
横形	電動 手動	ギヤ式 コード式 操作棒式	アルミ合金製[G]	25	鋼製	図示
縦形	電動 手動	1本操作コード式 2本操作コード式	アルミスラット プラスチックスラット	80 100	アルミ合金製	図示

縦型ブラインドのスラットの材質

13 ロールスクリーン (20.2.15)

操作方法	スクリューの材質	その他の材料	幅・高さ・取付箇所	品質
スプリング式 コード式 電動式	ガラス繊維製 合成、天然繊維製	製造所の仕様	図示	

14 カーテン (20.2.16)

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
シングル ダブル	片引き 引分け	手引き ひも引き 電動	フラスひだ 箱ひだ、片ひだ アレーンひだ	図示	

15 カーテンレール (20.2.16)

材料による区分

強さによる区分

仕上げ

形状

16 ブラインドボックス及びシャッターボックス (20.2.16)

標準寸法(深さ)

材質

17 天井点検口

材質	寸法	形式	外枠	内枠
アルミ製	450×450 600×600	一般形	屋内外用 屋内用	額縁タイプ 目地タイプ

18 床点検口

材質	寸法	形式	備考
アルミ製 ステンレス製 鋼製	450×450 600×600	一般形 密閉形	屋内外用 屋内用 継ぎき

19 耐震スリット

方向	幅(mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
垂直	25	完全(全貫通型)	耐火型 非耐火型	有り 無し	
水平	25				

目地

目地材	内壁	外壁
シーリング材(見え掛かり部のみ)	シーリング材(見え掛かり部のみ)	シーリング材(内外共)

目地寸法

目地材の材質は標準仕様書9.7.11による

20 止水板

形式

施工箇所

21 エキスパンションジョイント金物

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。

22 くつふきマット

材質	受け枠	備考
塩化ビニル又はゴム製 硬質アルミ合金製 ステンレス鋼(SUS304)製	ステンレス鋼(SUS304)製 硬質アルミ合金製	

23 流し台ユニット

材質	寸法(mm)			備考
	W	D	H	
流し台	1200 1500 1800	550 600 650	800 850	市販品 トリアップ付き 天板ステンレス製
シンク台	600	550 600 650	620 670	市販品 バックボード有り 天板ステンレス製
二つり戸棚	1200 900	450	500 700	市販品
水切り	1200 900 600			市販品 ステンレス製 1段式

品質・性能

形状

24 旗竿

材質	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考
アルミ合金製	テーパー式 同一断面式		ハンド式 ロープ式	埋込式 ベース式 バンド式	

25 旗竿受金物

ステンレス製(SUS304)

26 止りめさく

形式	材質	柱径・肉厚(mm)	高さ(m)
上下式鎖内蔵式	標準品 スプリング式		GL+700

27 フェンス

フェンスの種類

高さ

28 プレキャストコンクリート (20.3.3) (20.3.4)

コンクリートの設計基準強度

配筋

29 間知石及びコンクリート間知石積み

種類	種類	質量区分	備考
間知石	花こう岩 凝灰岩	A B	

積み方

目録

伸縮調整目地

材質

厚さ

30 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JISによる種類
鋼製書架 鋼製物品棚	JIS S 1039の規格による	1種 2種 3種 4種 5種 6種

31 屋内掲示板

枠の材質

表面の材質

32 洗面カウンター

材質

奥行き(mm)

33 防煙垂れ壁

固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
納入り磨き板ガラス 繰入り磨き板ガラス 可動式	6.8	500	7&8製枠付き

種類	材質	高さ(mm)	備考
垂直降下式(巻取り型)	不燃布(不燃認定品)	500 800	ガイドレール 固定式(埋込型) 可動式(天井収納型)
回転降下式	鋼板製又は7&8製	500 800	表面仕上げ 天井材張り

降下機構

煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)

34 屋外掲示板

照明器具

施錠

製造所

35 収納家具

合板類、MDF及びパーティクルボードの放散量

材質、形状、寸法

36 インターロッキング補修

インターロッキングの欠け部、段差部の解消は、樹脂モルタルにて補修

37 FRPプール補修

修繕内容

- 1) 上面ジョイントFRP補修
- 2) 底面ジョイントFRP補修 研磨・FRP積層(2P)・ベスト仕上
- 3) R部壁、R部床取合いベスト補修 研磨調整・ベスト仕上
- 4) プール槽側シーリング打替え(内側) 2成分型シリコン 20×15程度
- 5) プールサイドシーリング打替え(外側) 2成分型シリコン 20×15程度

修繕工法及び使用材料(同等品使用可)

FRPライニング工法

不飽和ポリエステル樹脂 昭和電工(株) リゴラックPY-256

カラーベスト 公進ケミカル(株) 既存プール純正品

ガラス繊維マット 400g/㎡

ロービングクロス 580g/㎡

その他事項はFRPプール修繕特記仕様書による

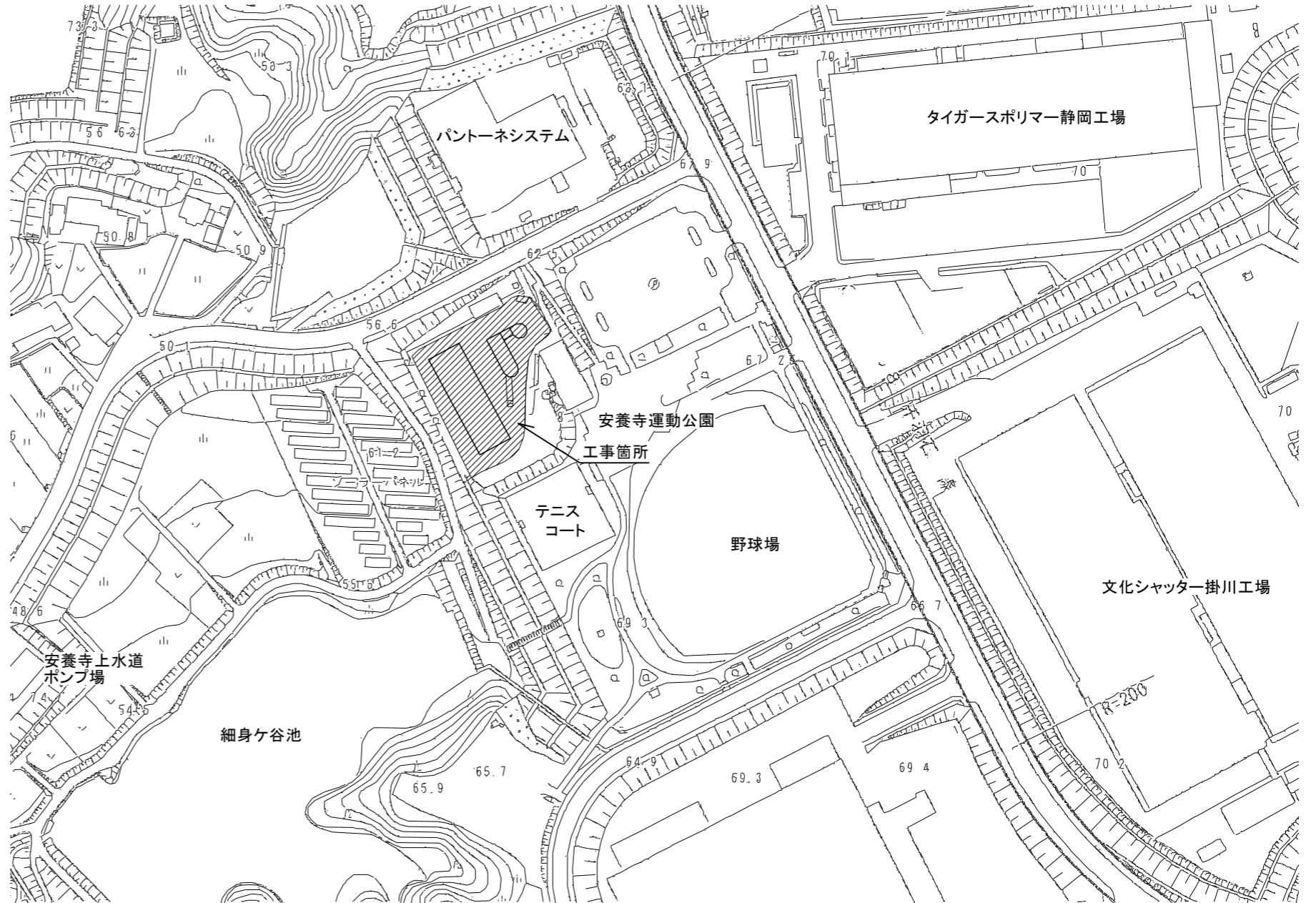
施工条件特記仕様書			明示項目		適用項目	明示が必要な場合		明示事項		内容			
<p>下記項目のうち適用項目○印該当欄は、当該工事に関する施工条件として明示するものである。 なお、明示事項に変更が生じた場合は、監督職員に報告し、協議するものとする。</p>													
1 工程関係	1	関連工事との調整	○	他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工期等に影響がある場合	影響を受ける部分								
					影響を受ける工事内容								
					関連する工事内容								
	2	施工時期、時間の制限	○	施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合	制限される施工内容	騒音・振動・粉塵が発生する工事							
					制限される施工時期・施工時間	施設管理者との打合わせによる							
					制限される施工方法								
	3	関係機関等との協議	○	当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合	制約を受ける内容								
協議内容													
協議成立見込時期													
関係機関、自治体等との協議の結果、特定の条件が付され当該工事の工程に影響がある場合					影響を受ける部分								
影響を受ける内容													
4	地下埋設物及び埋蔵文化財の事前調査	○	工事着手前に地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査を必要とする場合	調査項目									
				調査期間									
5	作業不能日数	○	地下埋設物等の移設が予定されている場合	移設期間									
6	指定部分	○	工事の規模（範囲）及び工期について指定した部分がある場合	当該工事の規模（範囲）									
				当該工事の工期	入札図書による。								
7	設備工事との調整	○	完成時の各種検査までに、別途設備工事の試運転調整等を完了しなければならない場合	試運転調整等の適正期間の確保	設備の試運転調整等を行ううえで、支障のない状態まで完了していること								
2 用地関係	1	仮用地等として官有地の提供	○	施工のための仮用地等として施工者に、官有地等を使用させる場合	場所・範囲	施設管理者との打合わせによる							
					時間・時期	施設管理者との打合わせによる							
					使用条件	施設管理者との打合わせによる							
					復旧方法	施設管理者との打合わせによる							
3 公害関係	1	公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等防止）	○	工事に伴う公害防止のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等の指定が必要な場合	施工方法、建設機械・設備、作業時間	※使用するべき建設機械の適用については工事特記仕様書による。							
	2	騒音、振動、地盤沈下、地下水枯渇等の防止調査	○	工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇等が予測される場合	事前・事後調査の区分								
					調査時期								
	3	電波障害等に起因する事業損失防止調査	○	電波障害等に起因する事業損失が懸念される場合	未然に防止するための必要な調査方法								
					未然に防止するための必要な調査範囲								
4 安全対策関係	1	交通安全施設	○	交通安全施設等を指定する場合	指定の内容								
					指定の期間								
	2	近接施工	○	鉄道、ガス、電気、電話、水道等の施設と近接する工事において施工方法等に制限がある場合	制限される施工方法								
					制限される作業時間帯								
	3	落石、雪崩、土砂崩落の防護施設	○	落石、雪崩、土砂崩落に対する防護施設が必要な場合	防護施設の内容								
	4	交通誘導員の配置	○	交通誘導員の配置を指定する場合	延べ人数	交通誘導警備員A		交通誘導警備員B					
配置時間					交通誘導警備員A		交通誘導警備員B						
5	有毒ガス及び酸素欠乏等の対策	○	有毒ガス及び酸素欠乏対策として、換気設備が必要な場合	換気設備等の内容									
5 工事用	1	一般道の使用	○	搬入経路、使用時間、使用時間帯等に制限がある場合	制限される工事用資機材の搬入経路								
					制限される使用期間								
					制限される使用時間帯								
				○	搬入、搬出路の使用内容及び使用後の処置が必要である場合	使用中・使用後の処置内容							
	6	新技術・新工法・特許工法	○			新技術・新工法・特許工法を指定する場合							
7	部分使用	○			部分使用を行う必要がある場合								
道路関係		2	仮道路		仮道路を設置する場合		仮設道路の仕様		安全施設等の設置期間				
6 仮設備関係		1	仮設備（仮土留、仮橋、足場等）		仮設備を他の工事に引き渡す場合及び引き継いで使用する場合		仮設備の内容		仮設備の期間				
7 建設副産物関係		1	建設発生土の搬出		建設発生土が発生する場合		受入場所及び仮置き場所までの距離		処分又は保管条件	工事特記仕様書による。			
		2	建設副産物の利用		現場内での再利用又は減量化が必要な場合		現場内利用の内容		減量化の内容				
		3	建設副産物及び建設廃棄物の処理	○	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合		処理方法、処理場所等の処理条件		建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適切に処理する。				
				○	再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合		受入場所、距離等の処理条件		建設廃棄物の種類	数量	処理等施設の名称	片道運搬距離	受入条件等
8 工事支障物件等		1	工事支障物件協議		地上、地下等における占有物件の有無及び占有物件等で工事支障物件が存在する場合		支障物件名、管理者名等		支障物件名	管理者名	支障物件の位置		
					地上、地下等の占有物件に係る工事期間と重複して施工する場合		工事内容						
							工事期間						
9 排水関係		1	排水処理		排水の工法、排水処理の方法及び排水の放流先等を指定する場合		排水工法、排水処理の方法等		排水工法	排水処理の方法	放流先		
		2	水替・流入防止施設		水替・流入防止施設が必要な場合		施設の内容		予定される排水量	排水の水質基準	放流費用		
							設置期間						
10 薬液注入関係		1	薬液注入		薬液注入を行う場合		設計条件、施工工法等		設計条件	施工工法	材料種類		
									施工範囲	削孔数量及び延長	注入量及び注入圧		
							周辺環境に与える影響の調査が必要な場合	周辺環境調査の内容					
11 その他		1	工事現場発生品		工事現場発生品がある場合		品名・数量、現場内での再使用の有無引渡場所				工事特記仕様書による。		
		2	支給品及び貸与品		支給材料及び貸与品がある場合		品名・数量・品質						
							規格又は性能						
		3	関連機関との近接協議				引渡場所・引渡期間						
		4	架設工法		架設工法を指定する場合		施工方法						
							施工条件						
		5	工事用水、電力	○	工事用水を指定する場合		工事用水の内容				工事特記仕様書による。		
				○	工事電力を指定する場合		工事電力の内容				工事特記仕様書による。		
		6	部分使用		部分使用を行う必要がある場合		部分使用箇所						
							部分使用時期						

掛川市役所	スギえもん設計一級建築士事務所	管理建築士 杉山 彰 一級建築士登録 第314153号	検図	作図	日付	R06.04.01	工事名	令和6年度 スポーツ施設等管理運営事業 安養寺運動公園プール等改修工事	図番	A-08
-------	-----------------	--------------------------------	----	----	----	-----------	-----	-------------------------------------	----	------



案内図

S=1/10000(A3)



配置図

S=1/2500(A3)

附記

(株)スギエもん設計

静岡県掛川市上西郷1676-2 藤ハイツ103
TEL:0537(54)2821 FAX:0537(54)2822
E-mail:sugiemon@zm.commuja.jp

事務所登録(1)第7891号
管理建築士 杉山 彰
1級建築士登録 第314153号

作図年月日
R06.04.01


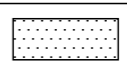
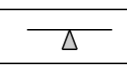
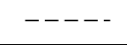
担当者
杉山 彰

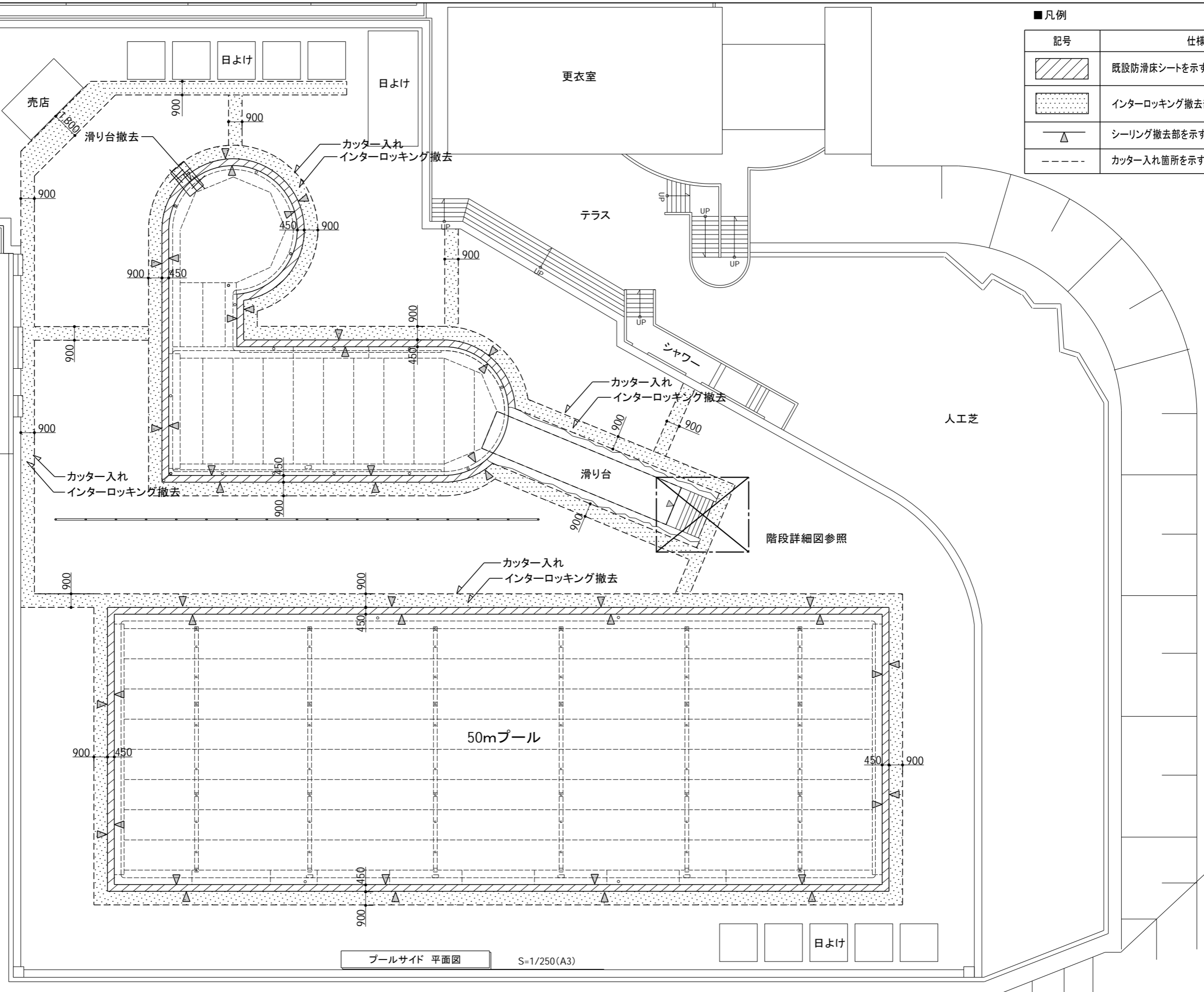
縮尺
1/10000(A3)
1/2500(A3)

工事名 令和6年度 スポーツ施設等管理運営事業 安養寺運動公園プール等改修工事
図面名 案内図・配置図

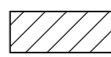

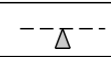
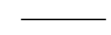
図面No
A-09

■凡例

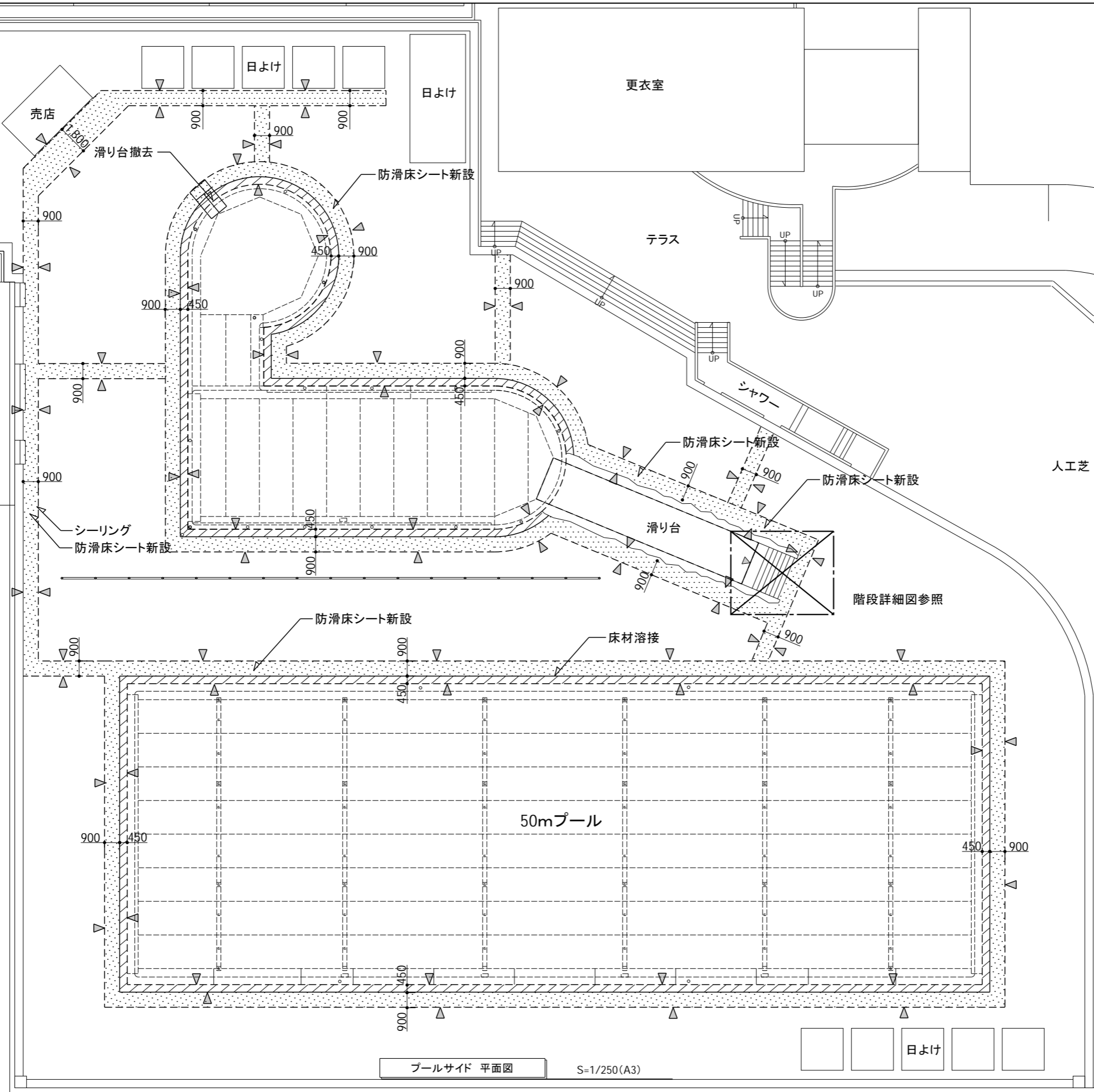
記号	仕様
	既設防滑床シートを示す(W450)
	インターロッキング撤去部を示す
	シーリング撤去部を示す
	カッター入れ箇所を示す

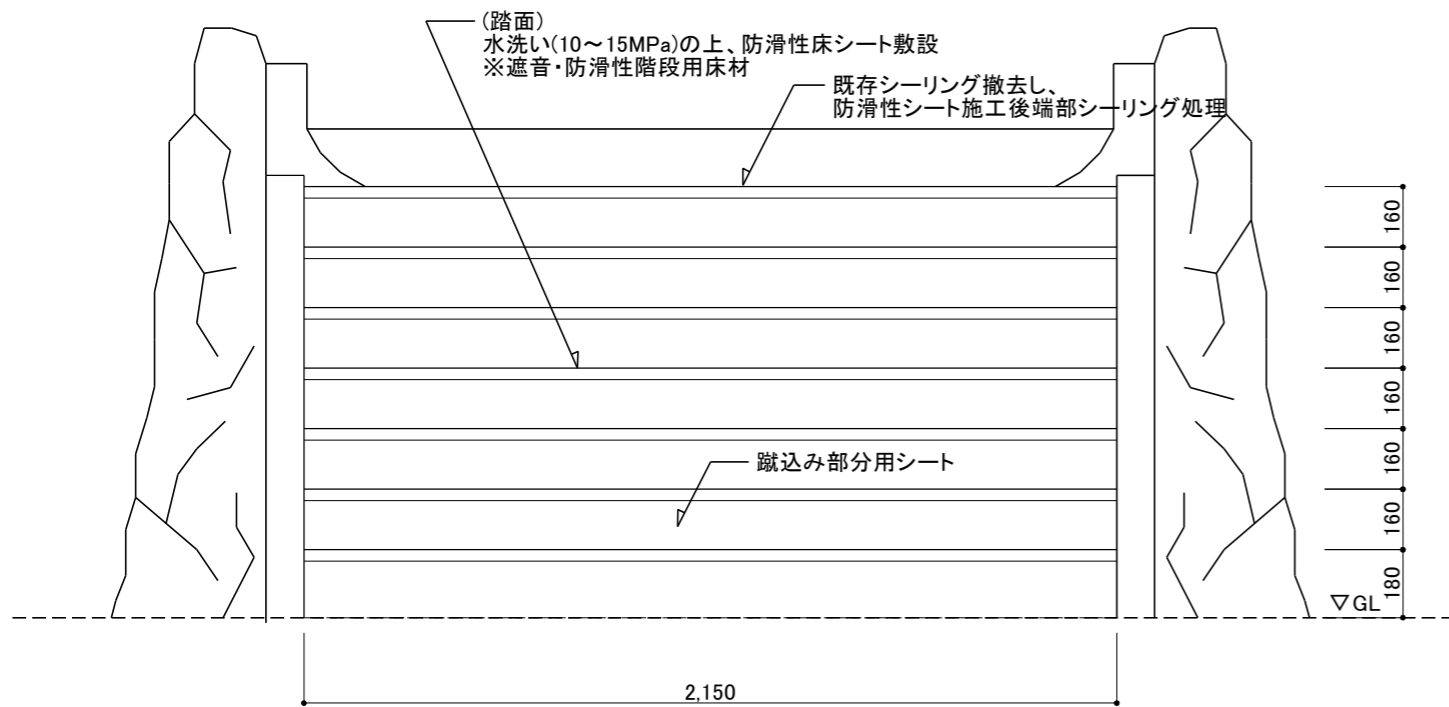


プールサイド 平面図 S=1/250(A3)

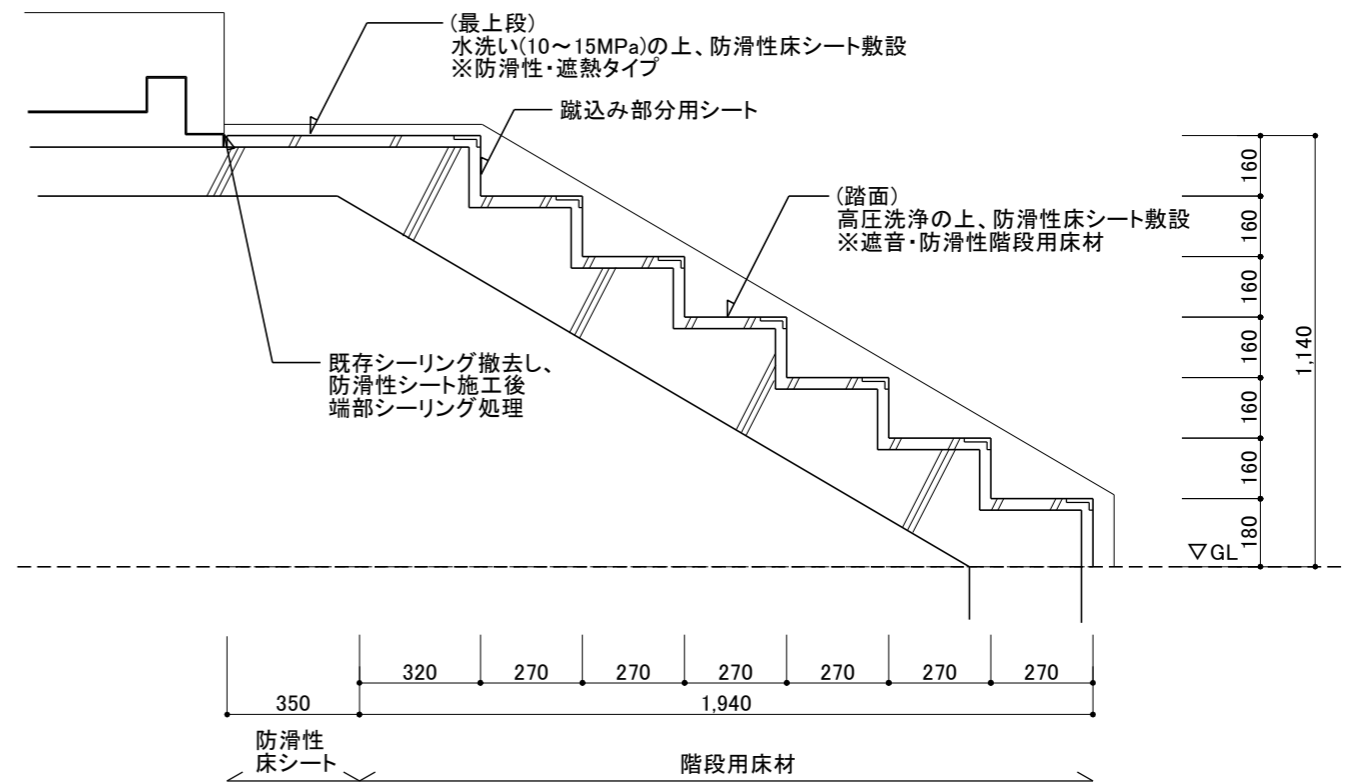
■凡例	
記号	仕様
	既設防滑床シートを示す(W450)
	新設防滑床シート敷設部を示す(W900)
	シーリング施工部を示す
	床材溶接箇所を示す

特記事項:
 ・既存インターロッキングを調査し、報告書を監督員に提出すること。
 ・補修対象部分は監督員と協議して決定すること。
 ・下地モルタルは、3mごとにエラストイト等で目地を入れること。また溶接金網(150口、6φ)を入れること。

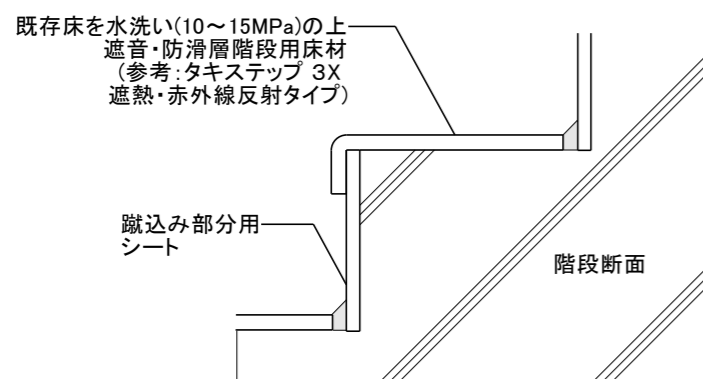




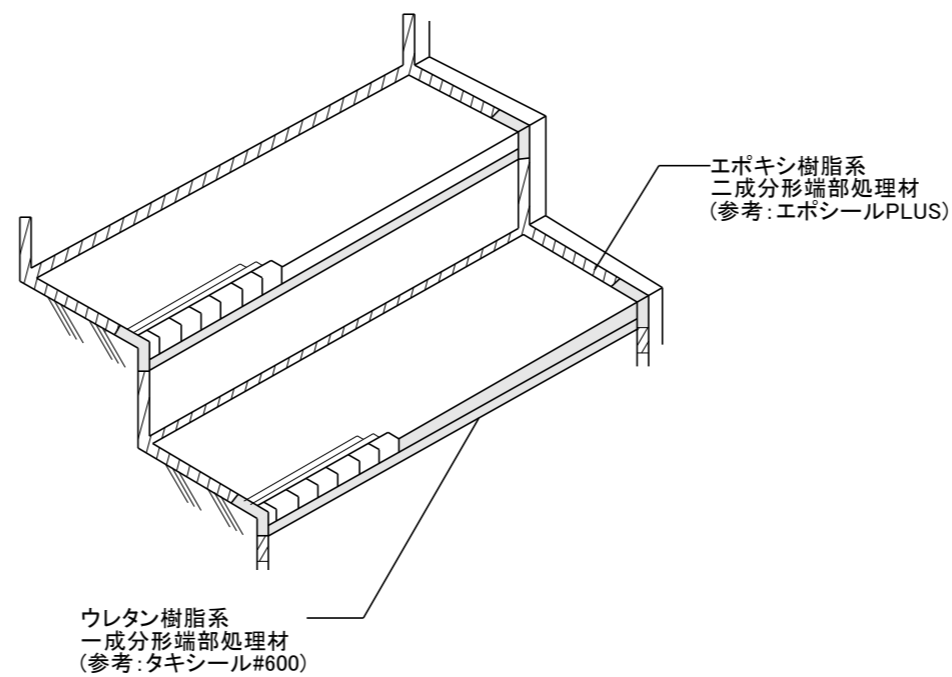
階段 立面図 S=1/20(A3)



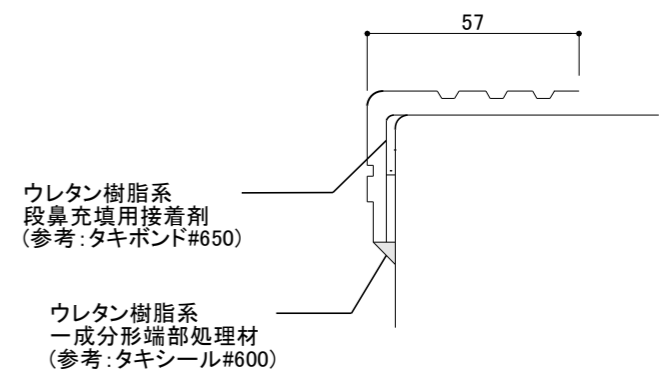
階段 断面図 S=1/20(A3)



階段 断面詳細図 NS



階段 アイソメ図 NS

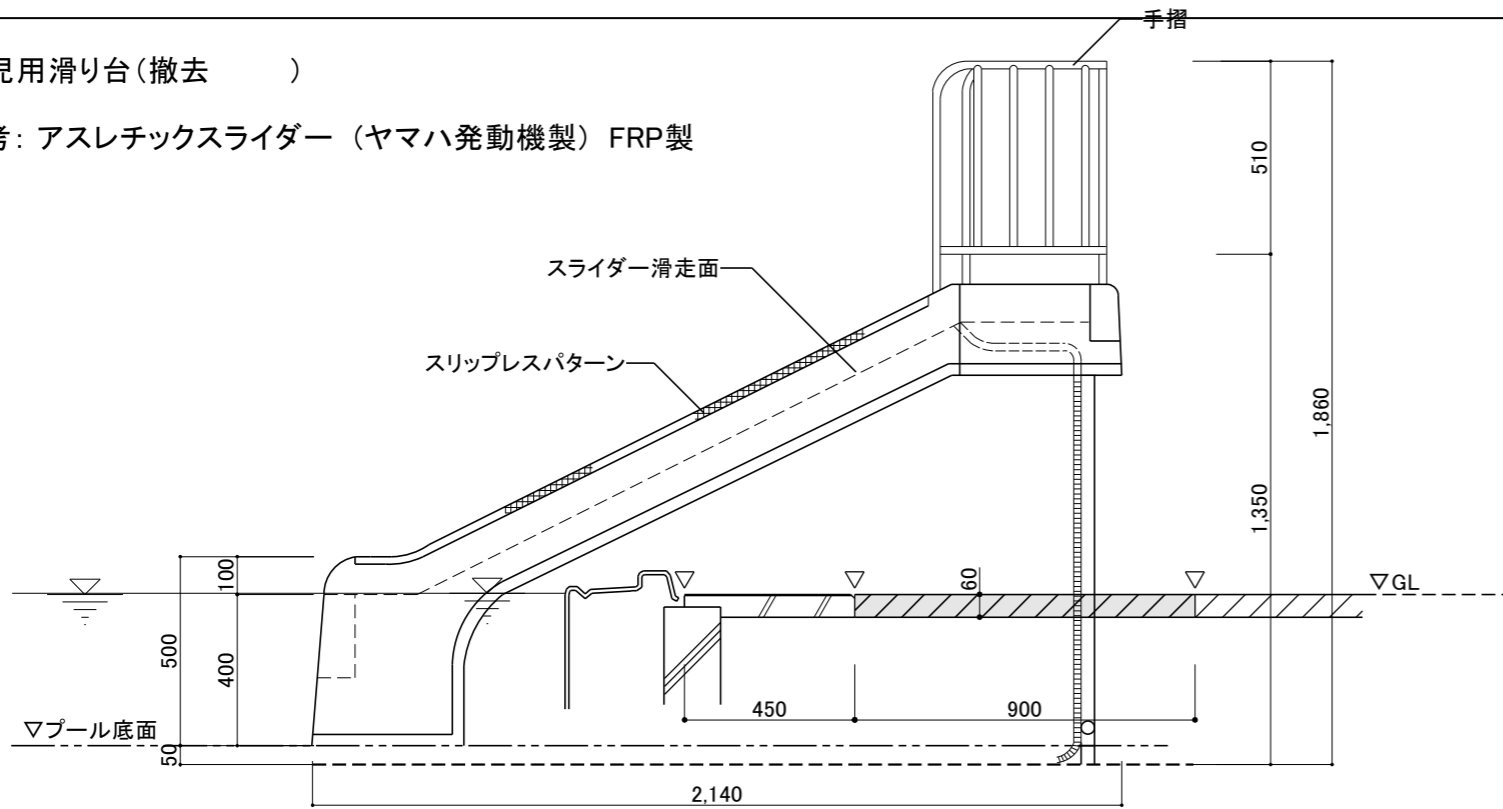


階段 出隅部詳細図 S=1/2(A3)

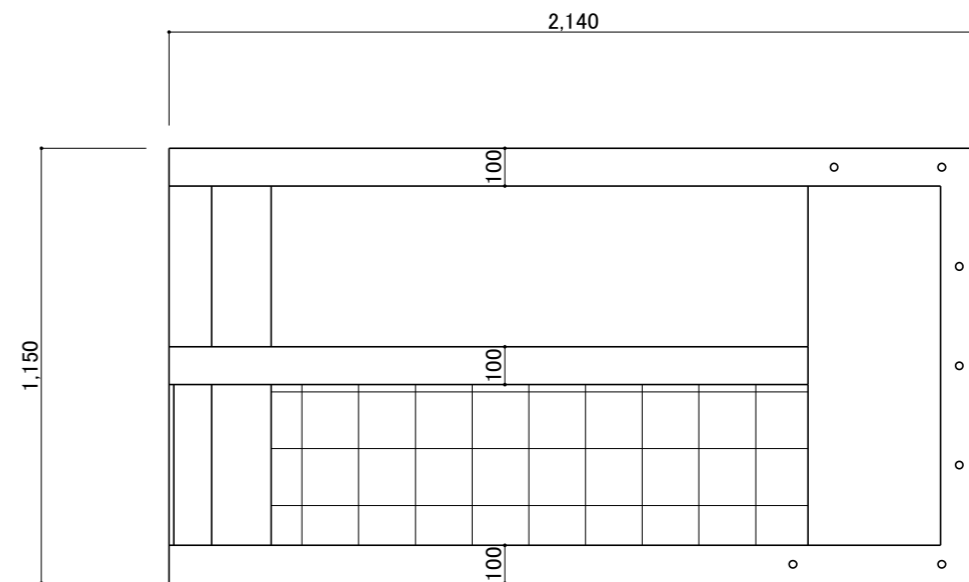
附記	(株)スギエもん設計	静岡県掛川市上西郷1676-2 藤ハイツ103 TEL:0537(54)2821 FAX:0537(54)2822 E-mail:sugiemon@zm.commuja.jp	事務所登録(1)第7891号	作図年月日	担当者	縮尺	工事名	図面No.
			管理建築士 杉山 彰 1級建築士登録 第314153号	R06.04.01	杉山 彰	1/20 (A3) 1/2 (A3)	令和6年度 スポーツ施設等管理運営事業 安養寺運動公園プール等改修工事	A-12
							図面名	滑り台 階段詳細図

幼児用滑り台(撤去)

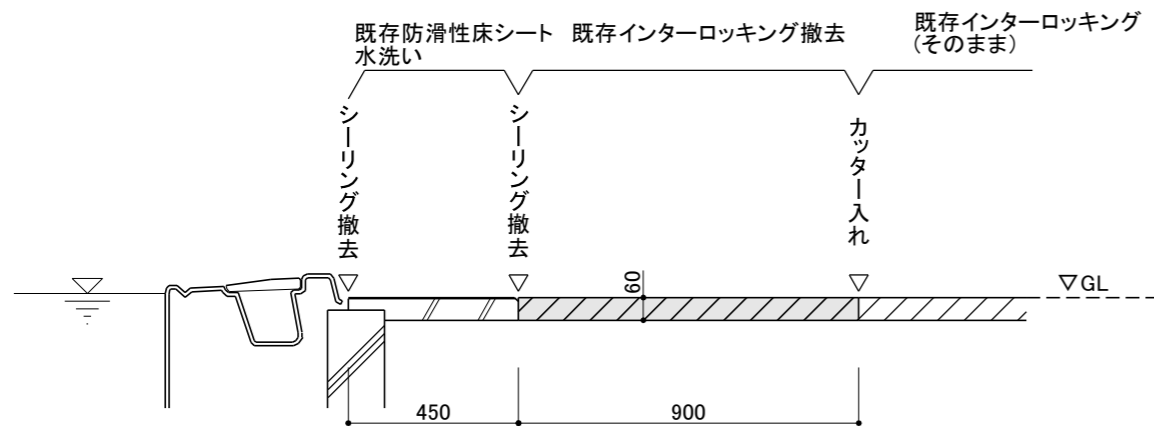
参考: アスレチックスライダー(ヤマハ発動機製)FRP製



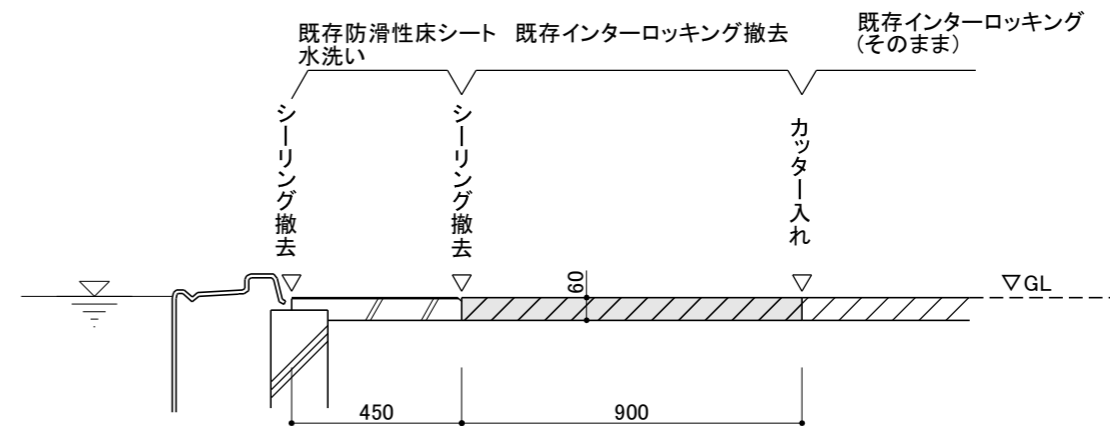
幼児用滑り台 立面図 S=1/20(A3)



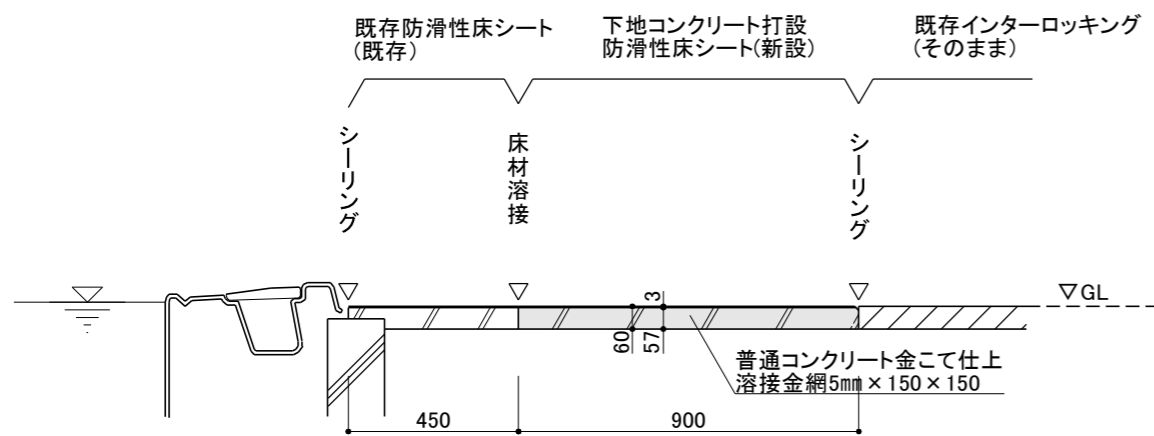
幼児用滑り台 平面図 S=1/20(A3)



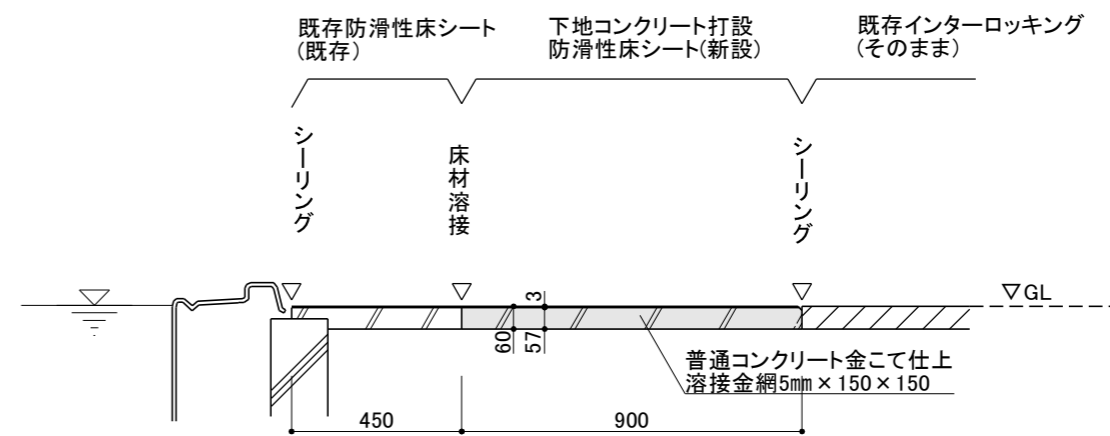
大プール側 断面図(現況) S=1/20(A3)



幼児用プール側 断面図(現況) S=1/20(A3)



大プール側 断面図(改修) S=1/20(A3)



幼児用プール側 断面図(改修) S=1/20(A3)

附記	(株)スギエもん設計	静岡県掛川市上西郷1676-2 藤ハイツ103 TEL:0537(54)2821 FAX:0537(54)2822 E-mail:sugiemon@zm.commuja.jp	事務所登録(1)第7891号	作図年月日	担当者	縮尺 1/2(A3) 1/20(A3)	工事名	令和6年度 スポーツ施設等管理運営事業 安養寺運動公園プール等改修工事	図面No A-13
			管理建築士 杉山 彰 1級建築士登録 第314153号	R06.04.01	杉山 彰		図面名		

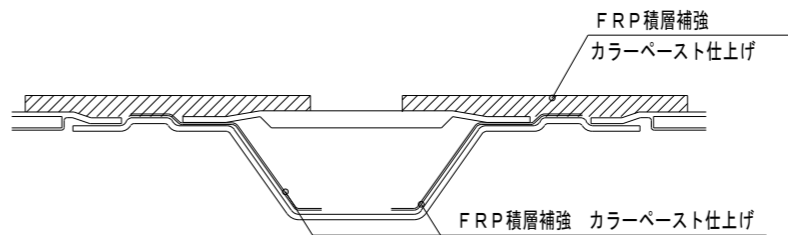
ヤマハ発動機（株）製 FRPプール修繕特記仕様書

大プール

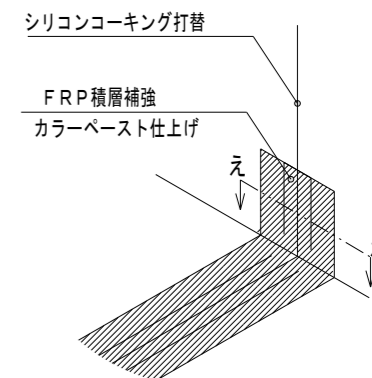
区分	内容		単位	
1 規模	プールサイズ (呼称)		m	50×17.01
	水深		m	1.2~1.4~1.2
	レーン数・幅		レーン・m	8・2.0
	水面積	(呼称寸法で算出)	m ²	850
	容量	(呼称寸法で算出)	m ³	1105
2 材質	FRP (Fiberglass Reinforced Plastics) : 不飽和ポリエステル樹脂をガラス繊維で強化したもの。			
3 成形法	ハンドレイアップ法	: 型の表面に製品色となるゲルコート樹脂を吹付硬化後、その上にガラス繊維を置きこれに成形樹脂を含浸させて硬化後、型から外して得る成形法		
	スプレーアップ法	: 型の表面に製品色となるゲルコート樹脂を吹付硬化後、その上にガラス繊維を含ませた成形樹脂をスプレー散布し硬化後、型から外して得る成形法。		
4 各部構造	1) 側板・底板	: サンドイッチ構造 (芯材 硬質発泡材) (1) 底板 : <厚さ>15mm (2) 側板 : <厚さ>21mm		
	2) デッキ・オーバーフロー	: FRP単板構造		
	3) 本体固定金物	: SS400 山形鋼 溶融亜鉛メッキ処理		
	4) 集水方式	: 6本ガーターによる分散集水方式		
5 修繕内容	1) 床面接合部補修	FRP積層 (W250mm×2PLY) カラーペースト仕上げ	m	535
	2) 壁面接合部補修	FRP積層 (W300mm×3PLY) カラーペースト仕上げ	ヶ所	30
	3) ガーター部補修	圧着蓋撤去、内部FRP積層 (W250mm×2PLY)、新設蓋圧着、上部FRP積層 (W250mm×2PLY) カラーペースト仕上げ (色: パロスブルー)	m	204
	4) コーピング部 (シーリング) 打替 (色: アイボリー)		ヶ所	30
	5) カラーペースト欠損部補修	100×100程度	ヶ所	20
6 修繕工法及び使用材料 FRPライニング工法	不飽和ポリエステル樹脂 昭和電工 (株) リゴラックPY-256			
	カラーペースト 公進ケミカル (株) 既存プール純正品			
	ガラス繊維マット 400g/m ²			
	ローピングクロス 580g/m ²			

幼児用プール

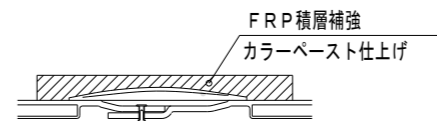
区分	内容		単位	
1 規模	プールサイズ (呼称)		m	
	水深		m	0.3~0.7
	レーン数・幅		レーン・m	
	水面積	(呼称寸法で算出)	m ²	238.72
	容量	(呼称寸法で算出)	m ³	119.36
2 材質	FRP (Fiberglass Reinforced Plastics) : 不飽和ポリエステル樹脂をガラス繊維で強化したもの。			
3 成形法	ハンドレイアップ法	: 型の表面に製品色となるゲルコート樹脂を吹付硬化後、その上にガラス繊維を置きこれに成形樹脂を含浸させて硬化後、型から外して得る成形法		
	スプレーアップ法	: 型の表面に製品色となるゲルコート樹脂を吹付硬化後、その上にガラス繊維を含ませた成形樹脂をスプレー散布し硬化後、型から外して得る成形法。		
4 各部構造	1) 側板・底板	: サンドイッチ構造 (芯材 硬質発泡材) (1) 底板 : <厚さ>15mm (2) 側板 : <厚さ>21mm		
	2) デッキ・オーバーフロー	: FRP単板構造		
	3) 本体固定金物	: SS400 山形鋼 溶融亜鉛メッキ処理		
	4) 集水方式	: 分散集水方式		
5 修繕内容	1) 床面接合部補修	FRP積層 (W250mm×2PLY) カラーペースト仕上げ	m	182
	2) 壁面接合部補修	FRP積層 (W300mm×3PLY) カラーペースト仕上げ	ヶ所	23
	3) R壁部補修	研磨調整・ペースト仕上 カラーペースト仕上げ (色: パロスブルー)	m	31.5
	4) コーピング部 (シーリング) 打替 (色: アイボリー)		ヶ所	23
	5) カラーペースト欠損部補修	100×100程度	ヶ所	10
6 修繕工法及び使用材料 FRPライニング工法	不飽和ポリエステル樹脂 昭和電工 (株) リゴラックPY-256			
	カラーペースト 公進ケミカル (株) 既存プール純正品			
	ガラス繊維マット 400g/m ²			
	ローピングクロス 580g/m ²			



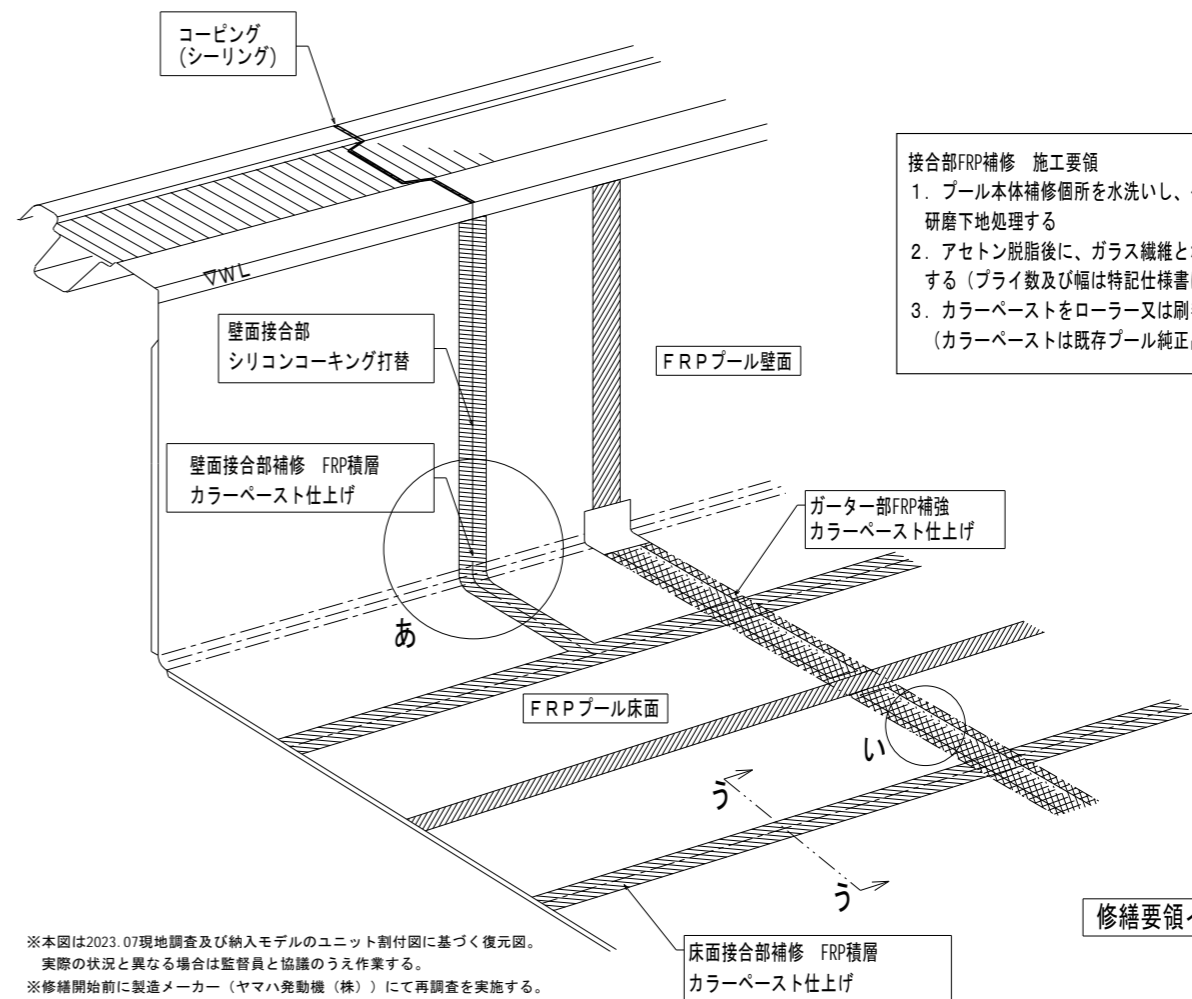
ガーター部 詳細図 (い部)



壁面接合部 詳細図 (あ部)



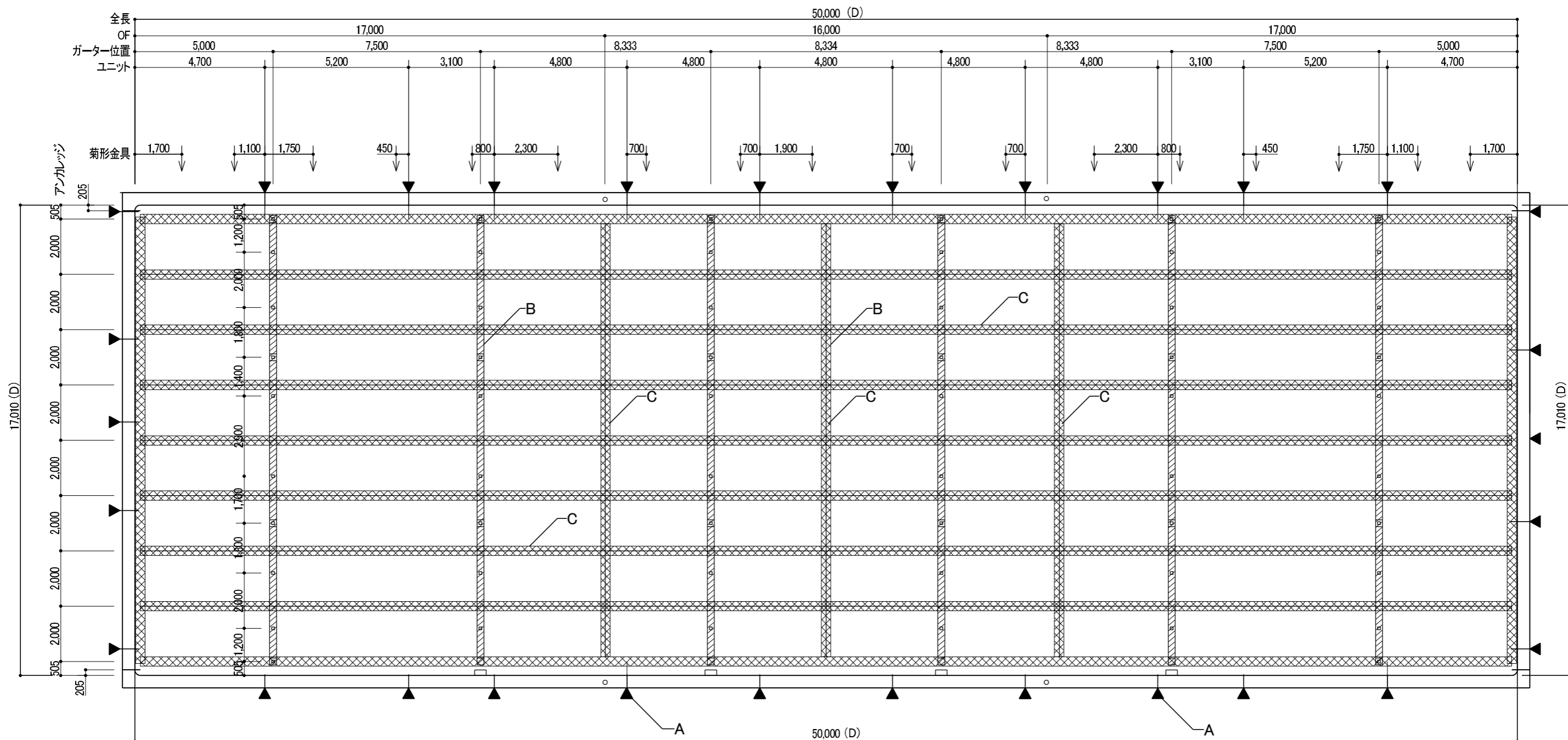
床面接合部 詳細図 (う-う断面)



接合部FRP補修 施工要領

1. プール本体補修箇所を水洗いし、ベルトサンダー等で研磨下地処理する
2. アセトン脱脂後に、ガラス繊維とポリエステル樹脂を積層する (プライ数及び幅は特記仕様書による)
3. カラーペーストをローラー又は刷毛で塗布し仕上げる (カラーペーストは既存プール純正品を使用すること)

※本図は2023.07現地調査及び納入モデルのユニット割付図に基づく復元図。
実際の状況と異なる場合は監督員と協議のうえ作業する。
※修繕開始前に製造メーカー (ヤマハ発動機 (株)) にて再調査を実施する。
※修繕の工法は製造メーカー (ヤマハ発動機 (株)) と同等以上とする。

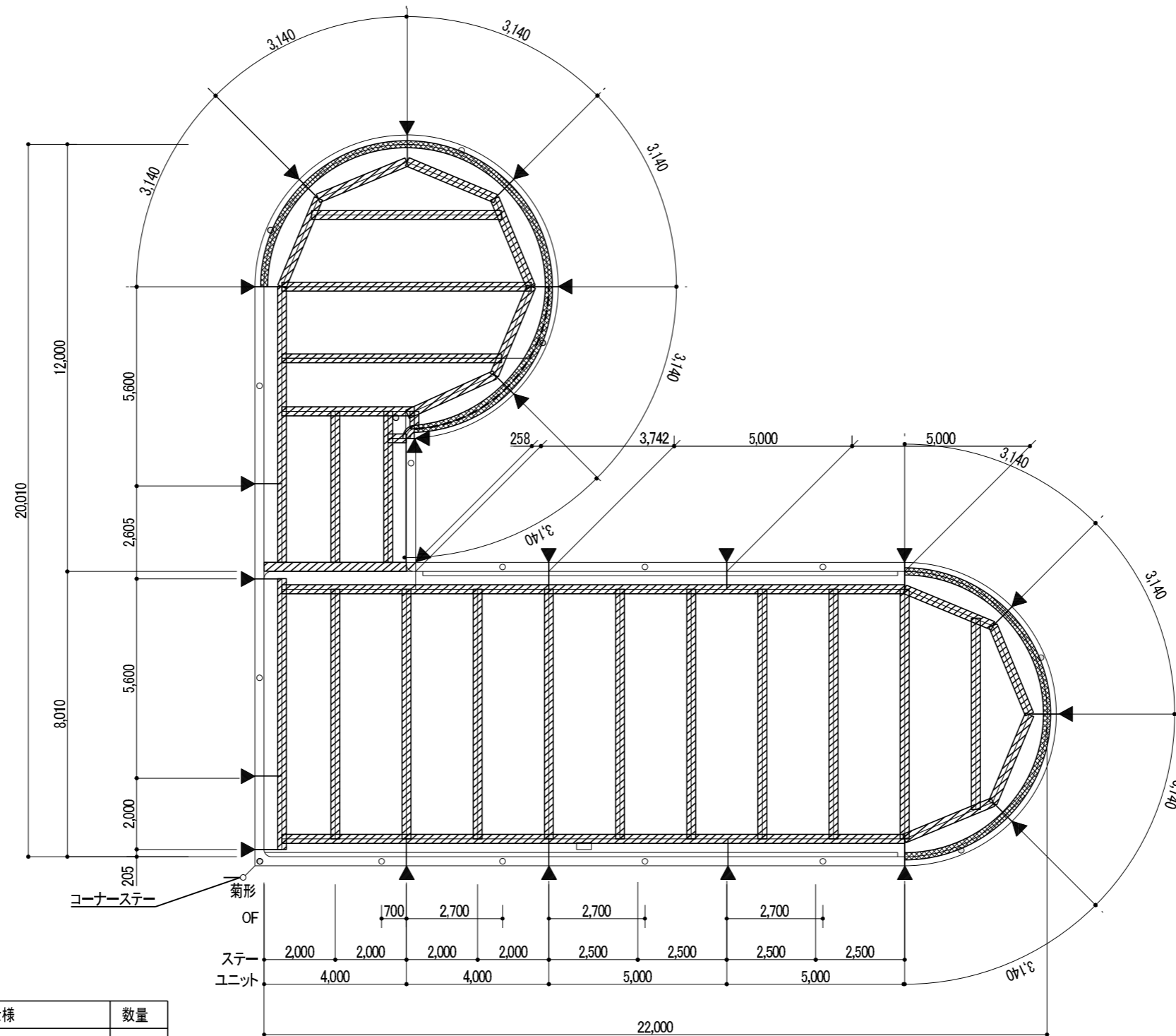


■凡例

記号	内容	仕様	数量
A	▼ 壁面ジョイントFRP補修箇所	研磨・FRP積層(3P)・ペースト仕上	30カ所
B	▨ ガーター上部FRP補修	研磨・FRP積層(2P)・ペースト仕上	204m
C	▩ 底面接合部補修	研磨・FRP積層(2P)・ペースト仕上	535m

大プール 平面図 S=1/150(A3)

特記事項:
 ・プール槽側シーリング打替え(外側)工事はプールサイド改修工事にて施工する。
 ・カラーペースト補修(100×100程度)を20カ所見込む。



幼児用プール 平面図 S=1/150(A3)

■凡例

記号	内容	仕様	数量
A	▼ 壁面ジョイントFPR補修箇所	研磨・FRP積層(3P)・ペースト仕上	23カ所
B	▨ 底面ジョイントFPR補修	研磨・FRP積層(2P)・ペースト仕上	182m
C	▩ R壁壁・R部取合いペースト補修	研磨・FRP積層(2P)・ペースト仕上	31.5m

- 特記事項:
- プール槽側シーリング打替え(外側)工事はプールサイド改修工事にて施工する。
 - カラーペースト補修(100×100程度)を10か所見込む。